|  |
| --- |
| **令和３年度事業行事報告　　　　　　　　　　　　福岡県退職公務員連盟**◎定例理事会はクローバープラザ会議室　　地連：九州地区連絡協議会　日公連：日本退職公務員連盟 |
| 月 | 県　　連　　業　　務 | 地連：日公連行事 |
| 3 | 19日(金)25日(木) | 理事会13:15～ローバープラザ事務務局長会13：30クローバープラザ旅費支給あり | 日公連から年間行事予定届く |
| 4 | 23日(金） | 組織部長会13：30クローバープラザ | 地連から協議会案内届く日公連研修会参加者報告 |
| 5 | 7日(金)11日(火)17日(月) | 会計監査　13：15　クローバープラザ(5名）支部役員・退任支部長報告期限賀寿該当者報告期限　　　　　　福祉部会報46号原稿期限日公連第27回研修会（東京）課題提出 | 12日（水）日公連理事・評議員会 |
| 6 | 4日(金)9日(水)15日(月)24日(木)28日(月) | 理事会　13：15　クローバープラザ評議員会13：30　コロナの為書面評決令和２年度事業及び決算報告：退任支部長：優良支部表彰会報46号発行　女性部長会13:30　クローバープラザ（11月に延期）全国大会参加者報告期限打合せ会案内はがき発送 | 14(火)～15日(水)日公連第27回研修会（東京）中止地連熊本大会(中止) |
| 7 | 1日(木) | 県連役員名簿提出期限　県連から日公連本部へそうめん販売事業　7月　8月福岡地区ブロック会議（参加態勢、その他要望事項等） | 役員名簿提出 |
| 8 | 6日(金)30日(月) | 賀寿該当者へ賀詞及び記念品発送　各支部へ令和３年度会員数報告（各支部から組織へ）末日までに分担金送金 |  |
| 9 | 3日(金)10日(金)13日(月) | 理事会・県大会運営委員13：15クローバープラザ（旅費支給）県大会中止全国大会参加者打合せ会　13：15　クローバープラザ小倉・鞍手・浮羽・豊前築城（4名）中止令和３年度会員数報告　県連から日公連本部へ　末日までに署名活動の提出 | 日公連へ会員数報告 |
| 10 | 13日(水)14日(木)15日(金)20日(水) | 理事会・県大会運営委員13：15クローバープラザ（旅費支給）県大会準備中止退公連福岡県大会　旅費は各支部負担会場：クローバープラザホール（コロナの為中止）会報47号原稿期限全国大会　6名参加　 | 19（火）理事・評議員会（中止）20（水）全国大会（中止） |
| 11 | 16日(火) | 会報47号発行　チャンポン・そば・うどんの販売事業 | 25日(木）全国組織部長会（東京） |
| 12 |  |  |  |
| 1 |  |  | 20日(木)全国事務局長会（東京）（中止） |
| 2 |  |  | 17日(木)全国女性部長会（東京）（中止） |
| 3 | 31日(木) | 事務務局長会　13：30　クローバープラザ　旅費支給あり |  |

**令和3年度（2021年）のまとめ**

１　会員拡大の課題

　　新会員が57名、しかし、死去・転居等で、全体的には、254人の減になっています。残念なことに今年も、田川郡支部が解散ました。その数が126名で大きな痛手になりました。ブロック長と事務局長が田川郡支部の役員会に参加して、何とか、1年間でも立て直す猶予を頂けないかと提案しましたが、解散の案件は、昨年から出ていたという事で、説得することが出来ませんでした。日頃からのブロック長会の大切さや、県連事務局との距離を感じて残念でなりませんでした。今後このような事にならないように、ブロック長会や県連事務局との距離を縮める必要があります。

田川郡支部の解散の大きな原因は、新型コロナの関係もありますが、高齢化によって、

活動が出来ないという事がです。しかし、高齢化の事を言えば、どの支部も抱えたか

課題です。今一度、その課題に正面から向き合う必要があります。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 |
| 新会員数 | 101 | 92 | 90 | 60 | 57 |
| 死去 | 148 | 125 | 136 | 157 | 103 |
| 転居 | 26 | 34 | 12 | 24 | 18 |
| その他 | 65 | 117 | 95(54) | 220(168) | 9 |
| 増減 | -239 | -276 | -243 | -401 | -254 |
| 会員数 | 3461 | 3185 | 2942 | 2541 | 2287 |

この現状の中で、昨年と同じように次の課題が明らかになりました。

①　組織の中で一人の役員に仕事が集中されてないか。

②　支部長・事務局長・会計・班長の仕事が分担され連携されているか。

③　新会員をどれだけ拡大することが出来たか。

④　新会員拡大につながる準会員の定着

⑤　賛助会員の拡大

⑥　後継者の育成

この状況に落胆することなく、地道に日公連や県連から出される資料を使って勧誘を続けていく必要があります。（明かるく元気に年金の有難さや20年後50年後の姿を語り合いましょう）

この状況の中で、再度問い直さなければならないことは、本当に、退公連の活動をする意義がどれだけ自分のものになっているのか？県連事務局も含めて問い直す必要があります。

１，年金があるのが当然と思ってないか。

２，年金の必要性を、どれだけ自分のものにして語りきれているか。

３，年金を含めた社会保障（セーフティーネット）が、世界と比べたら、まだまだ、

GDP比にすると、低位の方にあります。

４，退職公務員としての矜持をもってどんな社会を目指すのか、どんな地域を目指す

のか、を明らかにして地域に貢献し還していく必要があります。

２　2年間の新型コロナによって四ブロックに編成して県大会をブロック別の県大会が出

来ていません。今年度は、前倒して、筑豊地区で第1回目を開催して、福岡県退職公務

員連盟記念すべきスタートにしていく必要があります。

３　今年度、念願のホームページを作ることが出来ました。令和4年度は、ホームページ

の良さを活用して、現職の皆さまに活用しなければなりません。その為には、会員自ら

が扱える必要があります。

４　県連からの会員拡大のための資料・材料の発信について

　　県連チラシ～入会の案内～の作成（3000部）と配布➝毎年改定版の作成をしま

したが、会員の分も学習の為に配布する。

　　DVDの作成が、コロナ禍の中で出来ませんでした。

５　ソーメン・チャンポン等の販売活動

　　コロナ禍の中で、県連として48,500円の収益をあげることが出来ました。今年は、昨

年よりも収益があげられませんでした。コロナの影響で、仕方がなかったと思います。ご協力ありがとうございました。

６　アフラック生命のチラシの配布について

　　アフラックの福岡市地区の会社の業務が東京本社に移転されます。

今までされていた、チラシの配布を新会員でけに絞りたいという要請がありました。

７ 要望書の署名活動について、

　　コロナ禍の中で署名活動は、大変難しいと思いましたが、９支部から951名の

署名が集まりました。署名活動に取り組まれた会員の皆さま有難うございました。

８　女性部長会・組織部長会を単独で開催することが出来ました。特に女性部は、クロー

バープラザ2　　階のレストランで、軽食を食べながらの懇親会をしました。そのあと、研修室で、ホームページに　ついての研修をしました。来年も、2階のレストランで、実施出来たらと思います。

　組織部長会では、糟屋支部の組織部長から、実践報告がありました。参加者から、「大変

参考になりました。」という意見が多く好評でした。そして、各支部の厳しい本音の部分も交流する事がが出来ました。感想の中に、ぜひ、その様な交流会をしたいという意見が出ていました。

会員拡大は、組織部だけに任せる出なく、支部全体県連全体で考え取り組む必要があり

ます。今年は、コロナ禍の中で活動の自粛が否めなかった事は、考慮しなければなりま

せん。

準会員の、拡大をお願いしましたが、なかなか新しく開拓することが難しかったです。

９ 各支部での支部長・役員・班長の連絡体制を確立するために、携帯電話での連絡

体制をつくる。県連事務局と各支部との携帯電話での連絡体制については、まだま

だ不十分な所があります。皆さんのご協力をお願いします。